

心の輪を広げる体験作文 小学生部門 ◆佳作

「車いすのわたしのおじいちゃん」

相模原市立川尻小学校 二年 高堀 望弥

たかほり みや

おじいちゃんは、しゃしんをとるのが大好きです。おばあちゃんといっしょにお出かけに車にのって、カメラをかかえてしゃしんをとります。おじいちゃんは、あまいものが大好きです。チョコケーキをいつもおいしそうにたべます。おじいちゃんのおうちに行くとおしゃべりをしてくれます。おじいちゃんはおばあちゃんといっしょいっしょにいます。

わたしは、いつも車いすのおじいちゃんのことをかわいそうと思ったことがあります。それは、いつもおじいちゃんがわらっているからです。

夏休みにおじいちゃんちの近くのおまつりへ行きました。おまつりのばしょは、公園だったので、入口にさくがありました。おじいちゃんがのっている車いすだとおれませんでした。そうしたら近くにいたおじいさんたちが、

「手つだいますよ。」

と言ってくれました。おじいさんたちがおじいちゃんのことをもちあげて公園の中までつれていってくれました。それを見てたほかの人

たちが、はくしゅをしてくれました。わたしは、うれしく思いました。

「またかえりも言ってくださいね。」

と、おじさんたちが言ってくれました。

おじいちゃんはいつもわらっているけど、車いすだからこまることがいっぱいあるんだなと思いました。だからいつもおばあちゃんといっしょにいるんだなと思いました。

今は、まだ力がないけど、もうすこし大きくなったらおじいちゃんがかまっていたらたすけてあげたいです。